

11月5日に行われた「課題研究講演会」についてお伝えします！

概要

11月5日（木）の6，7校時に、大学・大学院生のOB・OGの方にお越しいただき、「課題研究講演会」が行われました。各クラス4名の先輩方の研究や、進路についてのお話を聞きました。今回は講演会の内容を紹介します。

講演内容

・安藤正宣先輩

高校での美術や成績に関して、そして大学での専攻について話してくださいました。また、「やらない」「できなくていい」をやめ、自分だけの特技・課題を持つことの大切さを話してくださいました。

Q. ポスターのデザインを見やすくするにはどうすればいいですか？

A. 2m離れたところからでも見えること、文字をスッキリさせ、大事なところはフォントを変え、違いをつけることです。

・佐藤光汰朗先輩

数学を専攻した理由や、大学で行っている研究について「ちょうどいい」を求めるといったテーマで話してくださいました。

Q. 高校数学と大学数学の違いは何ですか？

A. 大学数学の方が抽象的な事柄を多く扱うことです。

・菅原万里花先輩

専攻している日本語学の、文法論や方言論の内容や、今SNSで使われている語など、言葉の面白さについて話してくださいました。

Q. 何故北海道と東北の方言が似ているのですか？

A. 北海道を開拓するために北海道と東北で交流があったことや、同じ母音の規則変化があったことが考えられています。

・諏訪部椋大先輩・鈴木光先輩

諏訪部先輩からは、ハイドロゲルとシリコンの接合で作る脳電極についての説明や、研究においてコンセプトを満たしていること、社会問題や過去の研究に足りないものにするというアドバイスをいただきました。光先輩は合格体験記として、高校生の時の勉強法や1日の過ごし方、学術研究で行った内容の説明をしてくださいました。

Q. 脳電極は何に使われますか？

A. 手術中に脳の異常がないかを調べるのに使われます。

・加藤由樹先輩

焼却するとおよそ7割が廃棄物になってしまうプラスチックを有価物に変える研究や、研究において、テーマ決めや進める上で大切なことについて説明してくださいました。

Q. 海外旅行に行く費用はどうしていましたか？

A. 塾のバイトでお金を貯めて長期休みに一気に海外旅行に使っています。3000円くらいの宿がアジア圏にあります。



・山口恭正先輩

大学で研究している情報・データや文理選択についてのアドバイス、研究の工夫をアメリカ大統領選挙の例を挙げて語ってくださいました。

Q. データが少なくても効果的な標本を集めるコツ何ですか？

A. テーマの対象になる人をできるだけ絞ることです。

・菊田真依子先輩

高校で行っていた研究を大学でも続けていること、研究のアドバイスとして、テーマ設定は自分の本当に調べたいこと、また再現可能な実験をするなどを話してくださいました。

Q. 史料はどうやって活用するのが良いですか？

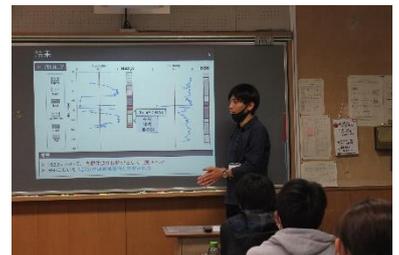
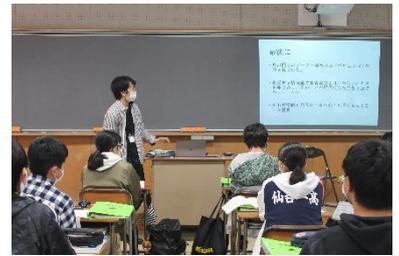
A. 芋ずる式で調べるのが良いです。

・佐藤憲太先輩

地学の研究で、津波によって運ばれてきた堆積物から津波が来る範囲や時期を予測し、ハザードマップに活用することなどについて話してくださいました。

Q. 研究室の主な就職先はどこですか？

A. I T系に就職する人が多いです。



編集後記

今回の講演会ではほとんどのクラスで積極的に質問をする様子が見られ、また、大学の様子や研究の仕方について沢山学ぶことができ、有意義な時間になったと思います。新しく始まるゼミの活動で、今回のことを活かしより良い研究ができるようにしましょう！！

最後までお読みいただきありがとうございました！！